

## 海外出張報告書

令和8年2月18日

名古屋市会議長  
西川 学 様

名古屋市会副議長	さわだ 晃一
名古屋市会議員	浅野 有
名古屋市会議員	橋本 ひろき
名古屋市会議員	近藤 和博

令和7年10月15日付けの議決に基づき、令和7年10月23日から10月29日までの間、名古屋市会シドニー市姉妹都市提携45周年公式代表団として、シドニー市、モスマン市及びタスマニア州へ出張しましたので、その概要を報告いたします。

(随 行)

名古屋市会事務局調査課  
課長 東 啓 之

## 議員の派遣

令和7年10月15日

地方自治法第100条第13項及び名古屋市会会議規則第54条の2の規定により下記のとおり議員を派遣する。

### 記

名古屋市会シドニー市姉妹都市提携45周年記念公式代表団

- (1) 派遣目的      シドニー市表敬訪問  
                         姉妹都市提携45周年記念交流行事参加  
                         動物園施策調査  
                         産業経済事情調査  
                         ダイバーシティ推進施策調査  
                         環境施策調査
- (2) 派遣場所      シドニー市、モスマン市、タスマニア州
- (3) 派遣期間      令和7年10月23日から10月29日まで
- (4) 派遣議員
- |     |   |   |   |   |   |   |   |     |
|-----|---|---|---|---|---|---|---|-----|
| さわだ | 晃 | 一 | 浅 | 野 | 有 | 橋 | 本 | ひろき |
| 近   | 藤 | 和 | 博 |   |   |   |   |     |

## 目 次

はじめに .....	1
日程 .....	2
10月24日(金)	
シドニー市役所(表敬訪問) .....	3
ナゴヤガーデン(植樹等)(姉妹都市提携45周年記念交流行事)	5
在シドニー日本国総領事館(表敬訪問、産業経済事情調査) .....	7
姉妹都市提携45周年記念レセプション.....	8
10月25日(土)	
JAPAN EXPO 2025(姉妹都市提携45周年記念交流行事)...	10
カスタム・ハウス図書館.....	11
10月26日(日)	
オペラハウス.....	15
シドニー名古屋姉妹都市委員会との意見交換.....	18
タロンガ動物園視察(動物園施策調査).....	19
10月27日(月)	
ボノロング野生動物保護区(動物園施策調査) .....	22
タスマニアデビルの専門家との意見交換(動物園施策調査).....	24
10月28日(火)	
シドニー日本商工会議所(産業経済事情調査).....	37
シドニー市役所(ダイバーシティ推進施策調査、環境施策調査)	44
おわりに .....	54

## はじめに

さわだ晃一副議長を団長に、自由民主党名古屋市会議員団、名古屋民主市会議員団、公明党名古屋市会議員団の各会派代表からなる名古屋市会シドニー市姉妹都市提携45周年記念公式代表団一行は、令和7年10月23日(木)に日本を出国し、シドニー市、モスマン市及びタスマニア州を訪問し、表敬訪問、姉妹都市提携45周年記念行事及び調査を行い、同月29日(水)に帰国した。

この間、本市と姉妹都市提携をしているシドニー市では、姉妹都市提携45周年記念交流行事として、シドニー市役所、在シドニー日本国総領事館へ赴き、表敬訪問を行うとともに、ナゴヤ・ガーデンにおける記念植樹、記念パネルの贈呈のほか、本市鶴舞中央図書館と図書交流を行っているカスタム・ハウス図書館を視察した。

また、JAPAN EXPO 2025において、オープニングセレモニーへの出席や、名古屋市ブースでの観光情報発信などを行ったほか、世界文化遺産のオペラハウスを視察した。

産業経済事情調査として、シドニー日本商工会議所へ赴き、シドニー市をはじめとしたオーストラリアの経済事情などについて説明を聴取するとともに、両市の今後の民間企業の交流について意見交換を行ったほか、シドニー市役所において、同市のダイバーシティ推進施策、環境施策に係る取組について説明を聴取し、意見交換を行った。

また、モスマン市では、本市東山動植物園と姉妹動物園提携をしているタロンガ動物園に赴き、園内の視察や質疑などの動物園施策調査を行うとともに両園の動物交流などについての意見交換を行った。

さらに、タスマニア州では、同地域に生息するタスマニアデビルの保全の取組について現場視察及び専門家との意見交換を行った。

以下、各都市において行った表敬訪問、姉妹都市提携45周年記念行事及び調査の概要を、日を追って順に報告する。

名古屋市会シドニー市姉妹都市提携45周年公式代表团 日程

日付	地名	日程
10/23(木)	名古屋駅 羽田空港	鉄道 東京へ 空路 シドニーへ
10/24(金)	キングスフォード・ スミス国際空港  シドニー市	○シドニー市役所 ○ナゴヤガーデン(植樹等) ○在シドニー日本国総領事館 ○姉妹都市提携45周年記念レセプション 【シドニー泊】
10/25(土)	シドニー市	○JAPAN EXPO 2025 ○カスタム・ハウス図書館 【シドニー泊】
10/26(日)	シドニー市  モスマン市	○オペラハウス ○シドニー名古屋姉妹都市委員会との 意見交換 ○タロンガ動物園 【シドニー泊】
10/27(月)	タスマニア州	○ボノロング野生動物保護区 ○専門家との意見交換 【シドニー泊】
10/28(火)	シドニー市	○シドニー日本商工会議所 ○シドニー市役所 【シドニー泊】
10/29(水)	キングスフォード・ スミス国際空港	空路 日本へ
	羽田空港 名古屋駅	鉄道 名古屋へ

令和7年10月24日(金)

- ◆10月23日に名古屋駅を出発した公式代表団一行は、羽田空港から空路でキングスフォード・スミス国際空港へ向かい、翌10月24日に到着後、広沢市長一行と合流し、最初の訪問先であるシドニー市役所を表敬訪問した。
- ◆表敬訪問終了後、ハイパーク内のナゴヤ・ガーデンで、姉妹都市提携45周年を記念し、記念植樹及び記念プレートの贈呈を行った。
- ◆植樹及び贈呈後、在シドニー日本国総領事館を表敬訪問し、シドニー市をはじめとするオーストラリアの産業経済事情について説明を聴取した。
- ◆在シドニー日本国総領事館での表敬訪問終了後、姉妹都市提携45周年記念レセプションに参加した。

### シドニー市役所(表敬訪問)

- 時 間 10月24日(金)午前10時から午前10時30分
- 場 所 シドニー市役所
- 対応者 ロバート・コック シドニー市議会議員  
リンドン・ガノン シドニー市議会議員 ほか

シドニー市役所では、ロバート・コック議員から歓迎の挨拶に続いて広沢市長、さわだ副議長はじめ両市の出席者が紹介された後、広沢市長、さわだ副議長からそれぞれ挨拶があった。

表敬訪問の主な概要は、以下のとおりである。

#### ■ロバート・コック議員による挨拶(概要)

シドニー市役所へようこそお越しいただいた。あいにく本日はクローバー・ムーア市長が参加することができなかったが、姉妹都市提携45周年という節目を広沢市長、さわだ副議長はじめ名古屋



【中央左 ロバート・コック議員】

屋市会議員団の皆様とともにお祝いできることを大変うれしく思う。この後、歴史あるハイパークのナゴヤ・ガーデンにおいて、植樹式を行う予定である。また、今夜は姉妹都市提携45周年記念レセプションで、記念雑誌、図書を交換するほか、タロンガ動物園と東山動植物園との間で交換された動物たちの素晴らしい写真を寄贈させていただく。



【懇談の様子】

テーブルに置いてある金シャチは、姉妹都市提携25周年の際、名古屋市からいただいたものである。

広沢市長、さわだ副議長には、先日、名古屋へ滞在中に素晴らしいおもてなしをいただき、改めて感謝申し上げます。私とリンドン・ガノン議員にとって、初めての名古屋の訪問であり、名古屋まつりのパレードを楽しませていただいた。

これまで永年に渡ってシドニー名古屋姉妹都市委員会として素晴らしい活動をしていただいたワーウィック・ミラー委員長にも改めて感謝申し上げます。植樹式でも同委員会で永年活動に尽力いただいた旧メンバーの追悼を行う予定である。

45周年という節目に植樹式だけでなく、様々なイベントを用意しており、広沢市長、さわだ副議長はじめ皆様と一緒に参加できることは大変意義深い。

■広沢市長からは、先日開催した名古屋まつりに、シドニー市を代表して、ロバート・コック議員とリンドン・ガノン議員にご参加いただいたことへの感謝とともに、姉妹都市提携45周年を迎え、今後も両市の市民が相互理解と友好親善を深め、50年、100年と末永く、両市の絆を強くしていきたい旨の挨拶があった。

■さわだ副議長による挨拶(概要)

本日は、ロバート・コック議員、リンドン・ガノン議員をはじめ皆様とお会

いする機会を設けていただき心より感謝申し上げます。

先日は、ロバート・コック議員、リンドン・ガノン議員、ワーウィック・ミラー委員長ご夫妻に名古屋へお越しいただき、感謝申し上げます。

ワーウィック・ミラー委員長からいただいた小さなコアラのバッジを日本の著名な俳優が着用して、名古屋まつりのパレードに参加する様子が地元のテレビで報道され、非常に注目された。シドニー市と名古屋市は、1980年に姉妹都市提携を結んでから45周年を迎えた。これまで、動物園、マラソン、図書交流など、永きにわたり、様々な分野で交流を重ねてきたことを誇りに思っている。45周年という節目をきっかけとして、今後ますます、両市の友好・交流が深まり、未来に向かって、より強い親善の絆で結ばれるよう、名古屋市会として精一杯努めてまいりたい。ロバート・コック議員はじめ皆様におかれては、両市の友好・交流が一層深まるよう、引き続きご支援・ご協力をお願いしたい。

### ナゴヤガーデン(植樹・記念プレート贈呈)

時間 10月24日(金)10時45分～11時30分

場所 ナゴヤ・ガーデン(ハイド・パーク内)

対応者 ロバート・コック シドニー市議会議員

リンドン・ガノン シドニー市議会議員

シドニー名古屋姉妹都市委員会ワーウィック・ミラー委員長ほか

名古屋・シドニー姉妹都市提携45周年を記念して、本市からシドニー市へサザンカ(獅子頭)・車輪梅を寄贈し、ナゴヤ・ガーデンに植樹するとともに、45年に渡る友情の証として記念パネルの除幕式が行われた。また、シドニー名古屋姉妹都市委員会からの提案により、シドニー市に勤務され、観光、国際部門など永年に渡ってシドニー市民と名古屋市民の絆を築き上げる上で重要な役割を果たしたキリン・トンジ氏の功績を称え、サザンカ



【植樹の様子】

(雪月花)を植樹した。

#### ■ナゴヤ・ガーデンについて(概要)

ハイド・パーク内の北側に位置し、名古屋市・シドニー市の両市のつながりを伝える庭園。1983年に名古屋市からシドニー市へ石灯籠を寄贈し、新設された。ナゴヤ・ガーデンは静かな日本をテーマにした造園術で作られた庭園であり、シドニー市によって管理され、シドニー市と名古屋市の記念プレートが設置されている。



【記念パネルの贈呈の様子】

■広沢市長からは、45周年を記念し、名古屋市からシドニー市へ「記念パネル」と「獅子頭」及び「車輪梅」をナゴヤガーデンに贈呈させていただくこと、両市の友好関係の発展に大変ご尽力いただいたキリン・トンジ氏の活動に深く敬意を表するとともに、心より哀悼の意を表する旨の挨拶があった。

#### ■さわだ副議長による挨拶(概要)

本日は名古屋・シドニー姉妹都市提携45周年記念植樹式にお招きいただき、感謝申し上げます。去る10月17日には、シドニー市より名古屋市へバンクシアを寄贈いただき、東山動植物園で行われた植樹式には、私も名古屋市会を代表して立ち会わせていただいた。本日は、この由緒あるハイドパークのナゴヤ・ガーデンで、シドニー市と名古屋市の交流に多大な貢献をされたキリン・トンジ氏の追悼のため、植樹が行われると伺っている。キリン・トンジ氏の活動に深く敬意を表するとともに、心より哀悼の意を表する。

## 在シドニー日本国総領事館表敬訪問

- 時 間 10月24日(金)午後2時～午後3時
- 場 所 在シドニー日本国総領事館
- 対応者 西田雄一郎 首席領事

在シドニー日本国総領事館では、西田首席領事から、ニューサウスウェールズ州の概況について説明を聴取した。表敬訪問の主な概要は以下のとおりである。

### 【ニューサウスウェールズ州、シドニーの概況について】

オーストラリアの面積は日本の約20倍、ニューサウスウェールズ州は日本の約2倍、人口は約2730万人で、居住者の出生地の約3割が海外であり、移民の割合が多いことが特徴である。在豪邦人数は2024年10月1日時点で約10万4千人であり、中国を抜きアメリカに次いで2位となった。オーストラリアは広大な国土がある一方、人口はシドニーを含めた南東部に集中しており、商業圏は東海岸の主要都市に集中している。

ニューサウスウェールズ州はオーストラリア最古の州であり、日本が第1位の輸出相手であり、石炭の一大産地である。一般に「シドニー」といえば、35の市から構成されるシドニー大都市圏を指すが、州都であるシドニー市は人口24万6千人でオフィス・商業施設・官庁の集積地である。

### 【経済動向について】

2019年度まで28年連続で経済成長を続けたオーストラリアにおいて、ニューサウスウェールズ州は最大の経済規模を誇る。

移民政策により先進国でありながら高い人口増加率を維持し、生産年齢人口も増加していることが要因の一つである。



【西田首席領事を囲んで】

ニューサウスウェールズ州の産業構造は、サービス業の占める割合が高く、特に不動産と金融・保険業の割合が高くなっている。

近年は、住宅価格の高騰が喫緊の課題であり、州における住宅の平均購入価格は1億円を超えている。木材など資源コストに加え、労働コストが高く、最低賃金は1時間2500円を超えている。夜間や週末はさらに高い賃金となる。

ニューサウスウェールズ州にとって、日本は世界第2位の貿易相手(輸出先として1位、輸入元として4位)である。代表的な輸出は石炭、輸入は自動車である。

#### 【日豪間の旅行者数について】

オーストラリアから日本への旅行者数はコロナ前のピークであった2019年には62万人であったが、2024年に92万人で過去最高を更新し、2025年は8月時点で65万人に達しており、年間で100万人を超えるペースで伸びている。

オーストラリアから海外への旅行者数は月にもよるが、ニュージーランド、インドネシア(バリ)に次ぎ、日本は3位である。

### 姉妹都市提携45周年記念レセプション

■時 間 10月24日(金)午後5時30分～午後7時30分

■場 所 シドニー市役所

■対応者 ジェス・ミラー副市長

ロバート・コック シドニー市議会議員

リンドン・ガノン シドニー市議会議員

在シドニー日本国総領事館 西田雄一郎 首席領事 ほか

シドニー市の主催により姉妹都市提携45周年を記念したレセプションが開催され、2023年に始まった鶴舞中央図書館とカスタム・ハウス図書館との図書交換に加え、姉妹都市提携30周年の際、シドニー市で開催した「東山・タロンガ姉妹動物園の動物写真展」で展示された写真パネルの贈呈が行われた。

■広沢市長からは、明日開催される JAPAN EXPO 2025で多くのシドニー市民の皆様、姉妹都市である名古屋市の魅力を知っていただき、今後より多くの交流が生まれることを願っていること、また、本日は心のこ

もったおもてなしをご用意いただき、心より感謝申し上げる旨の挨拶があった。

#### ■さわだ副議長による挨拶(概要)

本日は、お忙しい中、姉妹都市提携45周年記念レセプションにお招きいただき、ジェス・ミラー副市長をはじめとする関係の皆様から心から感謝申し上げます。シドニー市と名古屋市は、教育・スポーツ・文化などの分野をはじめ様々な分野で永きにわたる交流を続けてきた。先ほどナゴヤ・ガーデンで取り行われた45周年を記念したパネルの贈呈、植樹式で両市の友好関係を一層深めることができたと思う。姉妹都市提携45周年の節目を機に、今後ますます両市の友好・交流が深まり、さらに末永く続くことを願っている。



【さわだ副議長の挨拶の様子】



【図書交換】



【動物の写真パネルの贈呈】

令和7年10月25日(土)

- ◆公式代表団一行は、広沢市長一行とともに、JAPAN EXPO 2025へ出席した。
- ◆JAPAN EXPO 2025終了後、広沢市長一行とともに、カスタム・ハウス図書館を訪問し、館内を視察した。

## JAPAN EXPO 2025

- 時 間 10月25日(土)午前10時～午前11時30分
- 場 所 シドニー市役所
- 対応者 ロバート・コック シドニー市議会議員ほか

今回で5回目の開催となる JAPAN EXPO2025において、名古屋市・シドニー市姉妹都市提携45周年を記念し、オープニングセレモニーへ出席するとともに、名古屋市ブースでの観光情報の発信のほか、名古屋めしの試食会を行った。

■広沢市長からは、名古屋のブースで天むす、みそかつを配布するため、ぜひ召し上がっていただき、名古屋の魅力や日本の文化を楽しんでいただきたい旨の挨拶があった。



#### ■さわだ副議長による挨拶(概要)

JAPAN EXPO 2025 の開催にご尽力いただいた関係者の皆様、また、多くのご来場の皆様に感謝申し上げます。皆さんご存知の手羽先(フライドチキン)は、肉を注文することを忘れて余っていた肉を揚げ始めたことがきっかけとなった食べ物である。今回は手羽先を用意していないので、ぜひ名古屋にお越しいただき、召し上がっていただきたい。このイベントの成功を祈念して私の挨拶とさせていただきます。



#### カスタム・ハウス図書館視察

■時 間 10月25日(土)午後2時～午後3時

■場 所 カスタム・ハウス図書館

■対応者 ポーラ・プフォーファー 図書館戦略マネージャー  
サマンサ・シー ハブチームリーダー

名古屋市鶴舞中央図書館とシドニー市カスタム・ハウス図書館との間では、これまで姉妹都市交流の枠組みの中で図書交流を行ってきており、今年も10月24日にシドニー市主催の姉妹都市提携45周年記念レセプションで図書交換を実施した後、カスタム・ハウス図書館を視察した。

カスタム・ハウス図書館訪問の主な概要は以下のとおりである。

#### ■カスタム・ハウスについて(概要)

カスタム・ハウスは、1845年から1990年まで税関として実際に使用されていた歴史的建造物である。その後シドニー市に引き渡され、会議スペースなど様々な空間が作られ、2001年に図書館が移転してきた。

1階エントランスを入ったロビーには、ガラス張りの床下にシドニーの市

街地の模型が飾られている。2階は市立図書館及び展示室、3、4階はコ・ワークスペース、5階は眺望の良いレストランが入る複合施設となっている。

#### ■カスタム・ハウス図書館について (概要)

シドニー市にある9つの図書館がネットワークとして繋がっており、そのうちの1つがカスタム・ハウス図書館である。月曜日から金曜日までは10時～21時、土曜日、日曜日は10時～16時まで毎日開館している。

シドニー市の図書館の会員が8万4千人であり、そのうちカスタム・ハウス図書館の利用者は1万6千人である。

現在5万冊を超える蔵書があり、書籍・雑誌・新聞・楽譜・オーディオブックなどが置かれている。オーディオ・ビジュアル・アンド・ランゲージズという部屋には、ジャパン・コレクションと称して日本の本・漫画・雑誌・小説・DVDが配架されており、日本語の蔵書が多いという特徴がある。

#### ■蔵書、展示物について

1年に1回開催されるシドニーライフをテーマにした展示が行われている。

子ども向けの子どもが書いた作品が展示されており、5歳から12歳までの年齢層が参加できるようになっている。子どもたちのインスピレーション、目を通してシドニーを見た作品である。日本では漫画が非常に大きな市場を占めているが、オーストラリアでは漫画に似たもので、グラフィックノベルという小説の中に挿絵がたくさん入ったものが人気である。子どもたちはその挿絵があることで文章に慣れやすく、より読み進めやすいようである。



【ガラス張りの床下の市街地の模型】

読書室は、大人向けのフィクション小説などが置かれている。ヴィンテージのランプが備えつけられており、ハーバーブリッジが見えて、非常にユニークな空間を醸し出している。ミュージックルームには、クラシックミュージックからポップミュージックまで様々なものが揃っており、楽譜の貸し出しもある。メインコレクションには4万5千冊の蔵書がある。子どものコーナーでは、読みたい本の予約ができる。日本語と韓国語の子ども向けのコレクションがある。4万5千冊のうち、5500冊は日本語のものである。

2024年度の日本語の蔵書貸出数は6200冊で、2023年度と比べると12%増えた。近年、成功した取組として、高校3年生が卒業試験を受ける時期に図書館の開館時間を長くした。その結果、その期間の学生利用者の1800人増加につながった。

## ■質疑応答(概要)

### 【質問】

電子書籍の蔵書はあるか。

### 【回答】

電子書籍はないが、オーディオブックのコレクションはある。ソフトウェアのプラットフォームに移行しており、無料で貸し出している。図書館の会員になるのも無料である。シドニーに住んでいない者や海外からの一時滞在者であっても会員になることはできる。



【カスタム・ハウス図書館内の視察の様子】



【質 問】

アジア圏の蔵書として、日本語、韓国語以外のものはあるか。

【回 答】

各図書館の周辺に居住している外国人の状況を踏まえて蔵書を置いている。カスタム・ハウス図書館では、日本人の貸出希望者が多いため、日本語の蔵書を置いている。ダーリングハーバーに近い図書館では、近くにチャイナタウンがあるため、中国語の蔵書を置いている。近くの図書館に読みたい言語の蔵書がない場合、他の図書館から取り寄せて貸し出すことができる。



【ポーラ・プフォーファー氏・サマンサ・シー氏とともに】

令和7年10月26日(日)

- ◆公式代表団一行は、広沢市長一行とともに、オペラハウスを視察した。
- ◆オペラハウスの視察終了後、広沢市長一行とともに、シドニー名古屋姉妹都市委員会と意見交換を行った後、タロンガ動物園を訪問し、園内を視察した。

### オペラハウス(視察)

- 時 間 10月26日(日)午前10時～午前11時
- 場 所 オペラハウス
- 対応者 現地ガイド

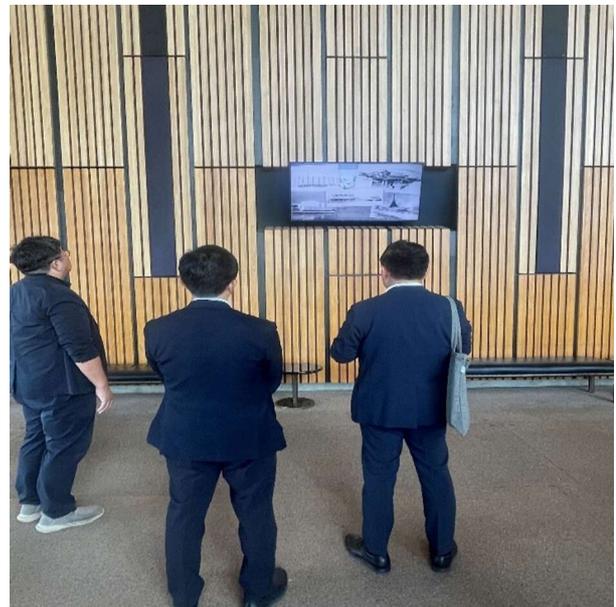
現地ガイドからオペラハウスの概要について説明を聴取した。視察の主な概要は以下のとおりである。

#### ■オペラハウスについて(概要)

##### 【世界文化遺産】

オペラハウスは、1974年の開館から33年後の2007年に世界文化遺産に指定されており、指定されるまでの期間が非常に早かった。

建築技術の高さが認められたものであるが、設計図面の作成は、コンピューターが一般的に普及していない時代に全て人間が計算してひらめいたものを何度も繰り返し書き直して作り上げていったものであり、人間の才能、努力が認められた建物、世界文化遺産であるといえる。



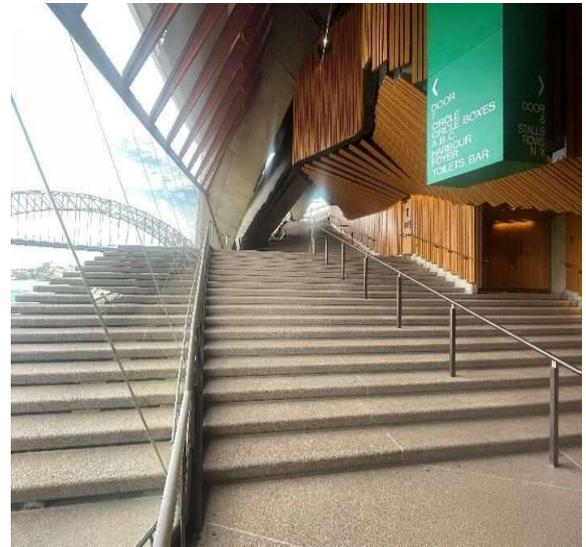
【オペラハウスを紹介する動画を視聴】

### 【建設の経緯】

1958年のオペラハウスの当初の建設構想では、最も大きな会場はオペラで利用することを想定していたが、その後1960年代に入るとオーケストラの人気の高まり、オーケストラを最も大きな会場で演奏した方がより集客が期待できるという方針が変わっていった。

当初の設計者であるデンマーク出身のヨン・ウツソン氏(以下「ウツソン氏」という。)は、大きな会場はオペ

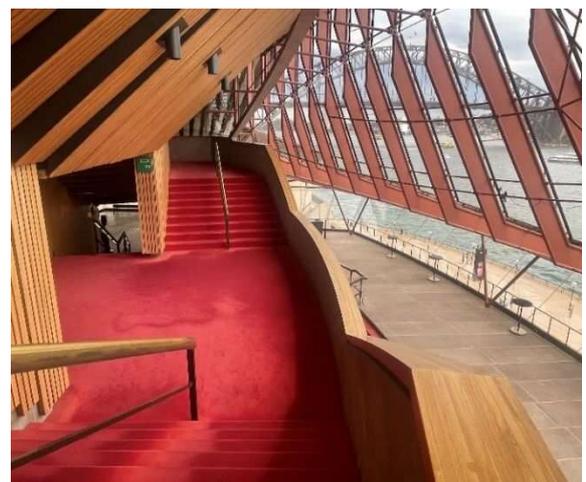
ラでの利用を前提に設計を進めていたが、その頃の政治情勢の影響もあって、ウツソン氏は設計から退くことになり、その後を引き継いだピーター・ホール氏の下で設計、建築が進められ、最も大きな会場はオーケストラを行うコンサートホールとなった。



### 【ウツソン氏の功績】

現在では年間1090万人が訪れる世界有数の集客施設であるが、建築後、時代の変化、テクノロジーの進化により、披露するパフォーマンスも変わっていき、メンテナンス、改修工事が年々必要となっていた。

1998年に、シドニーオペラハウスとニューサウスウェールズ州の意向により、一旦は設計から退いたウツソン氏の力を借りるため、当時の首相が親書を送ったところ、ウツソン氏が快諾してくれた。しかし、当時ウツソン氏はすでに80歳と高齢であり、その後も完成したオペラハウスの実物を見ることができなかった。



ウツソン氏の息子も建築家であり、父をサポートし、ウツソン氏は自国の

デンマークでオペラハウスのデザイン原則というマニュアルを書き上げた。現在はそのマニュアルをもとにメンテナンスや改修工事が行われている。その後、ウツソン氏は2003年には建築界で世界的に最も高名なプリツカー賞を受賞し、オペラハウスは2007年に世界文化遺産に選ばれた。2008年に90歳で亡くなったが、存命のうちに設計に関わった建築物が世界遺産として認められたケースはあまりない。

### 【コンサートホール】

オペラハウスで最も大きなオーケストラのための会場で座席数は約2700席ある。全体が木で作られており、天井と椅子の背もたれの部分にやわらかい白樺の木が使われており、音を吸収する性質があると言われている。

壁や床やステージに使われている木は、ユーカリ系のブラッシュボックスという硬い木が使われており、音をはじく性質があると言われている。このような柔らかい木と硬い木のそれぞれ異なる特徴を生かし、オーケストラの音がバランスよく綺麗に一番後ろの席まで届く設計になっている。

世界で最も大きな機械式パイプオルガンがあり、目視で数えられるパイプは約100本ぐらいであるが、後ろにもう少し多く隠れており、約1万本使われている。機械式パイプオルガンは、オーストラリアで10年かけて作られたもので、年間でも10回程度しか使われていない。

コンサートホールは2020年の改修工事で設備をアップグレードしたことにより、様々なパフォーマンスに対応できるようになったため、現在はロックコンサートのほか、サーカスなど音楽以外もこのホールで行うことが可能である。

### 【オペラ劇場】

オペラハウスの中でコンサートホールに次いで2番目に大きな会場で座席数は約1500席ある。オペラ、バレエ、ミュージカルのための会場であり、舞台セットを使い、素早く設置したり、交換するためのからくりが多く備わっている。

会場全体が木でできており、コンサートホールと同じ床、椅子が使われているが、壁は熱帯雨林系のイエローカラビーンというオーストラリアの木が使われている。壁が全部黒く塗られているのは、小さいステージがあまり小

さく見えないようにするためと、観客の姿勢が自然とステージの方に向けられるようにするためである。

ホールの空間が少し波を打っており、人間の口の中の構造を真似たものと言われている。オペラ歌手はプライドがあるため、マイクを使用せず生声で歌う。ステージを喉の辺りと考えて、オペラ歌手の発声がきれいに拡張されて、最後列の席まで届く設計となっている。



観客席の椅子は、医師が監修して作った特別なもので、長時間座っていても疲れにくい設計となっている。白樺の木が音を吸収するなど音のバランスを整えることのできる椅子が開発された。人間が座っている状態と座っていない状態で、全く同じ割合の音が吸収できるようになっているため、観客がいない状態でも満席の状態と同じ音響環境のもとで練習ができるようになっている。

## シドニー名古屋姉妹都市委員会との意見交換

■時 間 10月26日(日)午前11時～正午

■対応者 シドニー名古屋姉妹都市委員会 ワーウィック・ミラー委員長  
ロバート・コック シドニー市議会議員  
リンドン・ガノン シドニー市議会議員

ほか

姉妹都市提携50周年に向けた今後の姉妹都市連携について、意見交換を行った。

## タロンガ動物園(動物園施策調査)

■時 間 10月26日(日)午後2時20分～午後4時20分

■場 所 タロンガ動物園(モスマン市)

■対応者 ニック・ボイル タロンガ動物園長 ほか

ニック・ボイルタロンガ動物園長から冒頭挨拶をいただき、説明を聴取しながら視察を行った。視察の主な概要は以下のとおりである。

### ■タロンガ動物園について(概要)

シドニー市郊外のモスマン市に位置し、1916年に開園した動物園である。敷地面積は28ヘクタールあり、コアラ、タスマニアデビル、カモノハシなどオーストラリア固有種のほか、約350種以上、約4000点が飼育展示されている。年間来園者数は約81万6千人であり、オーストラリア国内の動物園の指導的立場にある。1996年にタロンガ動物園と本市東山動植物園との間で姉妹動物園協定を結んでおり、タロンガ動物園から東山動植物園には、コアラやニシローランドゴリラ(愛称「シャバーニ」)を贈っていただくなど様々な動物交流を行っている。1984年に日本で初めてとなるコアラが東山動植物園来園した。2024年にコアラ来日40周年を迎え、東山動植物園に新たにオス1頭が寄贈された。

### ■ニック・ボイル動物園長からの挨拶(概要)

本日、タロンガ動物園にお越しいただき大変光栄である。名古屋市とは永きにわたる交流を続け友好関係を築いてきた。コロナ禍以降、再び多くの日本人観光客をタロンガ動物園にお迎えすることができ大変嬉しく思う。タロンガ動物園では未就学の子どもから大学院で博士号取得の勉強をしている者まで、さまざまな方を対象に、野生動物に焦点を当てた教育機会を提供している。野生動物に関心のある将来を担うリーダーを養成することを目的の一つとしている。

動物園の役割の一つは、野生や生態系・多様性を守り、改善させていくことである。これにより昨今の地球環境の変化等に対応できるのではないかと考えている。

日本、オーストラリア、ヨーロッパ、アメリカなどの先進国では特に重要なニーズがあると考えている。本日は、学習施設を始め園内を順次ご案内させていただく。

**【飼育動物】**

コアラ、カンガルー、ハリモグラ、エミュー、カモノハシ、タスマニアデビルなどオーストラリア固有の動物を順次視察した。



コアラのいるスペースに入り(左上の写真)、  
間近でコアラを観ることができた(右の写真)。



**【餌を食べるエミュー】**



**【くつろぐカンガルー】**

### 【動物園敷地内に立地するホテルについて】

動物園では、屋外で立ち止まって観覧するのが一般的であるが、タロンガ動物園内に宿泊施設として「ホテルワイルドライフリトリート」が立地している。動物を飼育する中庭を取り囲むように建設されており、宿泊する部屋でくつろぎながら木に登るコアラなど様々な動物を見ることができる。

全部で62室あり、部屋のグレードによっては、中庭の先にシドニー湾のオペラハウス、ハーバーストリッジが望めるスイートルームのほか、大人数のファミリー向けルーム、2部屋が内扉で行き来できるコネクティッドルームもある。料金はダイナミックプライシング制で、繁忙期、閑散期によって変動し、(この部屋は)1泊2食付きで1200ドルであるが、平日は300ドルの日もある。動物園の入園料は52ドルであるが、会員になると安くなる。会員になると宿泊代に入園料も含まれ、特別のツアーに参加することもできる。



【ホテルの居室から中庭を望む】



【居室からコアラを観ることができる】



【ホテルワイルドライフリトリート内のレストランから、シドニー湾をバックにニック・ボイル園長を囲んで】